



ABEST21 e-News

No.94, October-December 2017

ABEST21

THE ALLIANCE ON BUSINESS EDUCATION AND SCHOLARSHIP FOR TOMORROW,
a 21st century organization

URL: <http://www.abest21.org> TEL. 03-3498-6220 E-Mail: ABEST21@abest21.org
Editor: Fumio Itoh

ABEST21 Office Report

2017年9月

- ・04日：Universitas Airlangga (Surabaya, Indonesia)のPeer Review Visitを実施
- ・05日：Universitas Surabaya (Surabaya, Indonesia)のPeer Review Visitを実施
- ・07日：Universitas Kristen Satya Wacana (Salatiga, Indonesia)のPeer Review Visitを実施
- ・09日：Universitas Brawijaya (Malang, Indonesia)のPeer Review Visitを実施
- ・13日：PPM School of Management (Jakarta, Indonesia)のPeer Review Visitを実施
- ・14日：Institut Pertanian Bogor (Bogor, Indonesia)のPeer Review Visitを実施
- ・16日：Universitas Telkom (Bandung, Indonesia)のPeer Review Visitを実施
- ・18日：Universitas Padjadjaran (Bandung, Indonesia)のPeer Review Visitを実施
- ・19日：Universitas Padjadjaran (Bandung, Indonesia)のPeer Review Visitを実施
- ・20日：Universitas Padjadjaran (Bandung, Indonesia)のPeer Review Visitを実施
- ・23日：Minister for Research, Technology, and Higher Education, Republic of IndonesiaのMinsister Mohamad NasirとUniversitas Diponegoroで会談及びUniversitas Diponegoro (Semarang, Indonesia)のPeer Review Visitを実施
- ・26日：京都大学経営管理大学院の文部科学省「先導的経営人材養成機能強化促進委託事業」のコアカリキュラム実証委員会に出席
- ・27日：関西学院大学（西宮）のPeer Review Visitを実施
- ・28日：京都大学（京都）のPeer Review Visitを実施
- ・30日：筑波大学（東京）のPeer Review Visitを実施

2017年10月

- ・03日：SBI 大学院大学（東京）のPeer Review Visitを実施
- ・05日：一橋大学（東京）のPeer Review Visitを実施
- ・07日：神戸大学（東京）のPeer Review Visitを実施
- ・11日：南山大学（名古屋）のPeer Review Visitを実施
- ・13日：Northeastern University (Shenyang, China)のPeer Review Visitを実施
- ・18日：青山学院大学（東京）のPeer Review Visitを実施
- ・20日：Universitas Indonesia (Jakarta, Indonesia)のPeer Review Visitを実施
- ・23日：Institut Teknologi Bandung (Bandung, Indonesia)のPeer Review Visitを実施
- ・25日：在インドネシア日本国大使館、中村亮公使を訪問

- ・ 26日：Universitas Lampung (Bandar Lampung, Indonesia)のPeer Review Visitを実施
- ・ 28日：Universitas Andalas (Padang, Indonesia)のPeer Review Visitを実施
- ・ 30日：Universitas Sriwijaya (Palembang, Indonesia)のPeer Review Visitを実施

2017年11月

- ・ 25日：インドネシア・スラバヤのUniversitas AirlanggaでABEST21 Peer Review Committeeを開催
- ・ 28日：APMMI International Seminar” Internalization of Internationalization” で、” How Japan build their Internationalization?” を講演

2017年12月

- ・ 08日：京都大学副学長稲葉カヨ教授を訪問

I. Quality Improvement and Peer Review System -32

=====
認証評価の目指すもの

組織体が“ゴーイング・コンサーン (Going Concern)”として未来に存続していくためには環境の変化に適応していかなければならない。そのためには大学は存続の障害となる諸問題を解決していくことが必要で、大学は所謂「健康診断」という第三者評価を受審し、組織の異常な症状を見つけ、それを治療していかなば生き残れない。“グローバル化時代に対応した教育研究環境づくり”に求められるのはこの改革である。

大学の第三者評価を受審する姿勢には大別して二つある。その一つは大学が第三者評価を受けるのは学校教育法で定められた義務であるからという理由の消極的な姿勢である。できれば認証評価を受けたくないが、義務であるからしょうがないという考え方である。一方、この第三者評価の機会を利用して大学改革を推進し、大学を大きく飛躍させていこうとする積極的な姿勢がある。このような大学は少ない。大抵はできれば無理をせず低い方のハードルを飛び越えていこうとする。このような大学は「過去」の教育研究状況についての分析をすれば「未来」の保証が得られると考えている。従って、過去の分析に終始し、未来の環境の変化に備えた分析を回避し、上辺の体裁だけを整えてくる傾向が強い。まさに「後ろ向き」の大学である。その結果、求める学生像が描けず、その求める学生数の確保ができなくなっている大学である。

一方、認証評価を「前向き」に捉えている大学には共通の傾向が見られる。特に、環境の変化において、大学を「ありたい姿」から「あるべき姿」に向けて飛翔していこうとする強い姿勢で、「教育研究の質維持向上」に貪欲である。それは実地審査における学長等大学執行部、学部長等学部執行部そして在籍学生及び卒業生等とのインタビューにおいて判明してくる。

それ故、ABEST21は専門審査小委員会 (Peer Review Team) に視線を下して受審校を見る Auditorsの視点をとるのではなく、常に受審校の Peer として同じ視線で受審校が分析した「自己点検評価報告書 (Self-Check/Self-Evaluation Report)」を評価していく立場をとるように指導している。受審校と Peer Review Team との間に相互信頼関係を確立し、「教育研究の質維持向上」を共有してこれまでの教育研究システムの諸機能の活動状況とその未来の保証の視点を中核として、下記の評価視点に基づく Peer Review の実施に努めている。

- ・ 専門分野の視点からの評価
- ・ グローバルな視点からの評価
- ・ 教育研究特徴の伸長を図る視点からの評価
- ・ 教育研究活動の質維持向上の実現を図る視点からの評価

- ・学修成果を保証する視点からの評価
- ・ステークホルダーの期待に応える視点からの評価

大学が環境の変化に対応していくためには大変な労力が求められる。大学という蒸気機関車が前に進むためには、レールに錆びついて動かない動輪を動かさねばならず、計り知れないエネルギーが必要となる。大学は一般的に変化を好まない傾向が強い。大学は、新入生の受入、次年度開講授業科目・授業担当者の決定、進級・卒業判定と毎年同じサイクルを反復してくる社会である。従って、教員は担当授業学科目や授業曜日・時限の変更にはかなり抵抗を示してくるし、事務職員にしても仕事はほとんどマニュアル化されているので、変化は極力避けたいと願っている。それ故、レールに動輪が錆びついて動かない蒸気機関車を動かすのは大変なのである。

従って、環境の変化に適応した教育研究環境づくりのための大学改革には、特に、需給のバランスが崩れた買手市場の大学進学市場では、進化論的な適者生存の論理が適用されてこないと変化に対する意識が蘇ってこないかもしれない。グローバル化の時代的要請に応えた大学改革には、積極的に第三者評価を受けて、改善課題を捉えていこうとする強い意志がリーダーに無ければ未来への存続は難しいと思う。

認証評価はわれわれが定期的な健康診断を受けるのと同じである。あらゆる検査をして悪いところを見つけ、その治療に専念することにより健康な体づくりができる。認証評価は大学の胸につける単なる徽章（バッジ）ではなく、明日の健康な大学を創る機会なのである。（理事長、伊藤文雄）

II. General Information

1. 常務理事の就任について

ABEST21 International は、組織の認証評価活動の促進のために「特定非営利活動法人（NPO）」から「一般社団法人」に法人組織を改組した。それに伴い ABEST21 のガバナンス体制を強化していく必要性から、理事長を補佐していく常務理事制度の設置が Executive Committee により承認され、下記の両名が就任しました。両氏のプロフィールは次号において紹介します。

- ・徳賀芳弘氏（京都大学副学長、大学院経営管理學院教授）
- ・谷川和生氏（三菱ガス化学株式会社社外取締役）

2. 監事の就任について

ABEST21 International は、一般社団法人 ABEST21 International の経営活動の自己点検評価の体制を確立していくために、監事の増員を図りました。インドネシア及びマレーシアより下記の両氏が就任しました。次号において両氏のプロフィールを紹介します。

- ・Prof. Dr. Ali Khatibi (Vice President and Dean of Graduate School of Management, Management and Science University, Malaysia)
- ・Prof. Dr. Gagaring Pagalung (Faculty of Economics and Business, Universitas Hasanuddin, Indonesia)

3. Local Committee の Coordinator について

10 校以上の会員が在籍しているインドネシアとマレーシアに、会員校間のコミュニケーションを促進するために Local Committee を設置しています。各 Local Committee に Coordinator と Secretary を配置しています。

インドネシア委員会

Coordinator

- ・ Prof. Dr. Ari Kuncoro (Dean, Faculty of Economics and Business, Universitas Indonesia)

Secretary

- ・ Prof. Dr. Utomo Sarjono Putro (School of Business and Management, Institut Teknologi Bandung)

マレーシア委員会

Coordinator

- ・ Prof. Dr. Azlan Arman (Dean, Graduate School of Business, Universiti Sains Malaysia)

Secretary

- ・ Dr. Siti Zaleha Sahak (Arshad Ayub Graduate Business School, Universiti Teknologi MARA)

4. 2018 年総会等の開催について

2018 年 3 月 5 日（月）及び 6 日（火）に、下記の日程で Peer Review Committee, Accreditation Committee, General Assembly 及び ABEST21 Seminar 等の開催を予定しています。

- ・ 2018 年 3 月 5 日（月）：Peer Review Committee 及び Accreditation Committee
- ・ 2018 年 3 月 6 日（火）：General Assembly 及び ABEST21 Seminar
- ・ 場所：品川シーズンテラスカンファレンス

（東京都港区港南 1 丁目 2 番 70、品川シーズンスタワー棟 3 階）

詳細については追ってご案内いたします。

III. Accreditation

1. 2017 年度 Peer Review Visit 審査状況

2017 年度認証評価審査の Peer Review Visit は、審査委員会（Peer Review Team）の書面審査で確認できなかった不明確事項等について受審校を訪問し関係者のインタビューにより明確化していく確認作業の審査プロセスです。それ故、インタビューは受審校の学長等大学執行部、学部長等学部執行部、学生・卒業生等について行われます。2017 年度の実地審査の実施校は 35 校で下表の通りです。

Peer Review Visits

	Self-Check/Self-Evaluation Reports	Kaizen Reports	Total
China	-	1	1
Indonesia	8	8	16
Japan	1	7	8
Malaysia	-	7	7
Russia	-	1	1
Thailand	-	2	2
Total	9	26	35

2. 2017年9月及び10月に実施した Peer Review Visits について

Universitas Airlangga, Surabaya



Universitas Surabaya, Surabaya



Universitas Kristen Satya Wacana, Salatiga



Universitas Brawijaya, Malang



PPM School of Management, Jakarta



Institut Pertanian Bogor, Bogor



Universitas Telkom, Bandung



Universitas Padjadjaran, Bandung



Universitas Diponegoro, Semarang



Kwansei Gakuin University, Nishinomiya



Kyoto University, Kyoto



University of Tsukuba, Tokyo



SBI Graduate University, Tokyo



Hitotsubashi University, Tokyo



Kobe University, Kobe



Nanzan University, Nagoya



Northeastern University, Shenyang



Aoyama gakuin University, Tokyo



Universitas Indonesia, Jakarta



Institut Teknologi Bandung, Bandung



Universitas Lampung, Bandar Lampung



Universitas Andalas, Padang



Universitas Sriwijaya, Palembang



3. Peer Review Committee のスラバヤ会議の開催について

2017年11月25日と26日の二日間にわたり、インドネシア・スラバヤ市の Universitas Airlangga において2017年度第1回の Peer Review Committee が委員長 Dean Mohd Ridzuan Darun (Universiti Malaysia Phang)、副委員長 Dean Ari Kuncoro (Universitas Indonesia)、Dean Azlan Amran (Universiti Sains Malaysia) の司会のもとで開催されました。主な議題は、

- 1) 10校の QIP (Quality Improvement Plan) の PRT 審査報告の承認の件
 - 2) 9校の SCR (Self-Check/Self-Evaluation Report) の PRT 認証評価審査報告(案)の承認の件
 - 3) KAIZEN Report の PRT 審査報告の承認の件
 - 4) KAIZEN Report 不提出校に対する処分(案)の件
 - 5) KAIZEN Report 提出に関する改善の件
- 等で、協議の結果各案件が承認されました。

今回は、Peer Review Committee を海外で初めて開催することで、会議準備等に多少の不安がありましたが、Universitas Airlangga の協力により膨大な量の審査資料を持ち込むことなく完全にペーパーレスで、インターネットを活用して東京会議の環境と全く変わらない状態で実施することができました。この方式によりこれから11月委員会は海外で、3月の委員会は東京で実施することが可能となりました。



4. 「実行計画履行状況報告」の提出改正について

2017年11月25日と26日に開催された2017年度第1回の Peer Review Committee において、これまで認証後3年間にわたり SCR の実行計画の履行状況を報告されることになっていましたが、この環境変化において教育研究の質維持向上の変化を確実なものとしていくために、2018年度より下記の改革をすることにいたしました。

- 1) 「実行計画履行状況報告書 (KAIZEN Report) 」は、認証後の2年目に提出する。
- 2) 審査は書類審査と実施審査を行い履行状況を確認する。
- 3) re-Accreditation において、受審校は認証後の5年間の教育研究の質維持向上の報告をする。

5. QIP の内容等の変更について

2017年11月25日と26日に開催されました2017年度第1回の Peer Review Committee において、「教育研究の質維持向上」を「認証評価受審の資格審査」から認証後の「KAIZEN Report の提出」までのプロセスの一貫性と相互関連の確立のために、これまでの QIP (Quality Improvement Plan) の名称を SQI (Strategies for Quality Improvement) に変更していくことになりました。これにより提出されるレポートの内容をより積極的に教育研究の質維持向上に取り組む戦略の内容のものとし、その戦略の実現に向けた SCR の自己点検評価の分析に連動させていくことにいたしました。

IV. Global Knowledge Network

1. The 1st ABEST21 ASEAN Rector Forumの延期について

ABEST21 International は、2017年11月26日と27日、インドネシア・バリ島の Denpasar に設置されている会員校の Universitas Udayana (UNUD) と Universitas Pendidikan Nasional (UNDIKNAS) の協力を得て、Hilton Bali Resort で開催を予定していましたが、バリ島の Mt. Agung の噴火活動により Denpasar の国際空港 (I Gusti Ngurah Rai International Airport) が使用できなくなる恐れのあることから、10月5日に学長会議の延期を決定いたしました。当時は、Mt. Agung の噴火活動の危険レベルが引き下げられているので延期する必要はないとの意見がありました。しかし、11月21日より Mt. Agung の噴火活動が活発化し、28日には空港が閉鎖され国内 249 便と国際 196 便の計 445 便が欠航いたしました。学長会議の延期によりその混乱を事前に回避することができました。



2. APMMI International Seminar への出席について

2017年11月27日及び28日に Surabaya の Four point Hotel で APMMI International Seminar “Internalization of Internationalization” が開催されました。伊藤理事長はセミナーに招待され、“How Japan build their Internationalization?” を講演しました。

2. APMMI International Seminar への出席について

2017年11月27日及び28日に Surabaya の Four point Hotel で APMMI International Seminar “Internalization of Internationalization” が開催されました。伊藤理事長はセミナーに招待され、“How Japan build their Internationalization?” を講演しました。

V. Membership Information

1. SBI 大学院大学経営管理研究科

研究科長、藤原 洋, Ph.D. (Hiroshi FUJIWARA)

1954年生まれ。京都大学理学部卒業(宇宙物理学)、工学博士(東京大学)。1977年日本アイビーエム入社後、日立エンジニアリング、アスキーを経て、1996年(株)インターネット総合研究所(現在代表取締役所長)を創業し、1999年東証マザーズ第1号上場、その後、グループ企業として(株)ブロードバンドタワー(現在代表取締役会長兼社長 CEO)、(株)ユビテックを上場。1998年インターネット協会副会長、2000年(財)インターネット協会副理事長、2015年一般財団法人インターネット協会理事長・兼 IoT 推進委員長(現任)。大学卒業後の当初約10年は、大企業で研究開発エンジニアとして実務に携わり、次の約10年は、ベンチャー企業の研究開発担当役員としてデジタル動画の国際標準化と研究開発プロジェクトリーダー、情報通信政策有識者会議メンバーとして経験を重ね、その後の約20年は、インターネット・テクノロジーベンチャー企業家、インターネット業界団体代表者、情報通信政策有識者会議メンバーとして活動しています。



2. 会員校の新学部長等人事について

会員校及び会員企業より、会員代表者の人事についての報告が下記のとおりありました。プロフィールについては次号に掲載いたします。

2. 会員校の新学部長等人事について

会員校及び会員企業より、会員代表者の人事についての報告が下記のとおりありました。プロフィールについては次号に掲載いたします。

- ・ School of Business, Institute Pertanian Bogor (IPB), Bogor, Indonesia
Dean Prof. Dr. Noer Azam Achsani
- ・ Faculty of Economics and Business, Universitas Hasanuddin (UNHAS), Makassar, Indonesia
Dean Prof. Dr. Abdul Rahman Kadir
- ・ Faculty of Business, Economics and Communication, Naresuan University, Pitsanulok, Thailand
Dean Dr. Vichayanan Rattanawiboonsom
- ・ ソニーコーポレートサービス株式会社
人事センター・採用部統括部長 北島久嗣氏
- ・ 東芝総合人材開発株式会社
代表取締役、取締役社長 竹中直紀氏

VI. 2017 Retrospect (January to December 2017)

=====

“光陰矢の如し”で、またこの1年が過ぎていきます。その時間の速さがABEST21の成長の速さを裏付けているようで、ABEST21のマネジメント教育の質保証がアジア諸国に浸透しアセアン地域にABEST21の活動が認知されてきました。この1年間の活動を回顧して2018年の新年を迎えたいと思います。

2017年1月

18日：ABEST21設立発起人カーネギー・メロン大学井尻雄士教授逝去

2017年2月

03日：FEB-UnpadのDr. Popy Rufaidah先生の来訪

07日：インドネシア・Universitas Muhammadiyah Yogyakartaの来訪

14日：一般社団法人ABEST21創設理事との打合せ

20日：長岡技術科学大学の来訪

21日：2016年度収支決算報告の監事による監査

22日：文部科学省にABEST21 ASEAN Rector Forum開催の報告

2017年3月

02日：文部科学省高等教育局国際企画室の来訪

06日：Peer Review CommitteeのChair会議の開催

07日：Peer Review Committeeの開催

08日：Accreditation Committee、理事会及び総会の開催

09日：ABEST21の日産自動車株式会社追浜工場の見学

10日：Universiti Malaysia Pahangの青山学院大学訪問に同行

15日：第5回分野別認証評価機関ネットワーク機構の開催

17日：第33回マネジメント人材育成協議会の開催

29日：ソニーコーポレートサービス株式会社を訪問

- ・ 認証評価基準の一部改正について

2017年3月8日開催のAccreditation Committee、理事会及び総会において、「認証評価基準の一部改正」が審議され、評価基準は18基準から26基準に、「評価点検項目」90項目から142項目に改正された。

- ・ ABEST21 Accreditation Systemの改革について



2017年3月8日開催の Accreditation Committee、理事会及び総会において、これまでの ABEST21 Program-based Accreditation System (APAS)に加えて2017年度より学部等の評価を目指した ABEST21 Academic Unit-based Accreditation System (AAAS)の実施が承認された。

・ Kaizen Report の不提出について

2017年3月8日開催の Accreditation Committee、理事会及び総会において、Kaizen Report の提出義務が再確認され、義務不履行の場合には ABEST21 の Accreditation System の趣旨から認証評価を取り消すことができることが承認された。

・ Guest Speeches について

2017年3月8日開催の総会において、Universiti Malaysia Pahang (Malaysia)の学長 Prof. Dr. Dato' Daing Mohd Nasir Bin Daing Ibrahim 氏の特別講演“Nurturing Management Professionals in Malaysia”により、マレーシアにおけるマネジメント人材育成の実情についての講演がなされた。



・ NISSAN Oppama Plant の見学について

3月9日(木)、日産自動車株式会社の追浜工場の見学が実施された。追浜工場は「モノづくりのグローバル発信拠点」として、①EV等の生産をはじめとする新技術を導入した生産ライン MPL (Master Production Line)、②グローバル企業の中軸となる人材の育成を行う GTC (Global Training Center)、③追浜工場の量産車ラインで新型車の試作を行い、それを各国の拠点の生産ラインに移すことで試作の時間を短縮する GPL (Global Pilot Line)の3つの機能を有している事などについてご説明いただきました。その後、量産車の生産ライン、車の輸出入を行う埠頭の見学を行い、そしてEV車の普及状況等についての活発な質疑応答が行われた。



2017年4月

05日：筑波大学を訪問

05日：文部科学省高等教育局企画課を訪問

25日：ABEST21 Accreditation Seminar Tokyo を開催

・ ABEST21 Accreditation Seminar Tokyo の開催について

2017年4月25日(火)、東京・渋谷のアイビー・ホールで ABEST21 の認証評価セミナーが開催された。

2017年5月

10日：京都大学を訪問

13日：カーネギー・メロン大学の故井尻雄士教授追悼会に出席

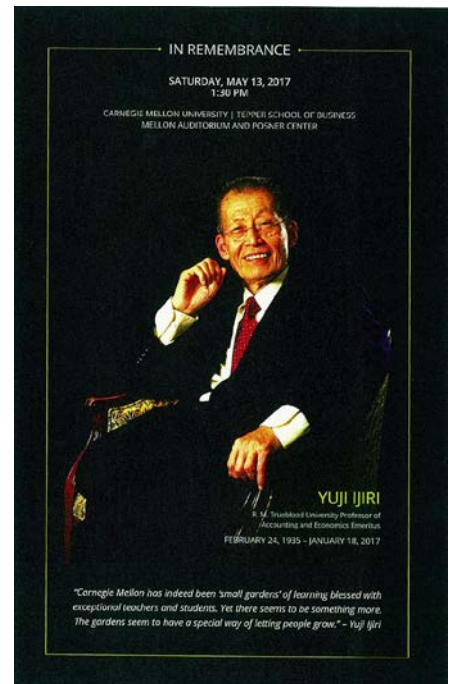
24日：文部科学省高等教育局専門教育課専門職大学院室の来訪

25日：トヨタ自動車トヨタインスティテュートを訪問

・ 法務アドバイザーの委嘱について

ABEST21 は、受審校及び認証校が増えるに従って、ABEST21 認証評価大綱に抵触してくる法務問題解決のために早稲田大学大学院法科大学院教授棚村政行弁護士を法務アドバイザーとして招聘した。

- ・ In Remembrance of Dr. Yuji Ijiri について
2017年5月13日、故井尻雄士先生を「偲ぶ会」が、米国・ピッツバーグ市のカーネギー・メロン大学 (Carnegie Mellon University) の Memorial Lecture Mellon Auditorium で開催された。会は先ず、” Honoring The Legacy Of Professor Yuji Ijiri” として、Senior Associate Dean Prof. Michael A. Trick 教授の司会の下で下記の先生方が井尻先生の学問的業績等について講演された。
- ・ Professor Sham Sunder (Yale University)
- ・ Professor Jonathan Glover (Columbia University),
- ・ Professor John Fellingham (Ohio State University),
- ・ Professor Haijin Lin (University of Houston),
- ・ Professor Yoshitaka Fukui (Aoyama Gakuin University)
- 続いて、” Remembrances” として、カーネギー・メロン大学ビジネススクール (Tepper School of Business) の Dean Robert M. Dammon 教授の司会の下で下記の8名の先生方が井尻先生の想いでを語られた。
- ・ Professor Robert Kaplan (Harvard Business School)
- ・ Dean and CEO Ilker Baybars (Carnegie Mellon-Qatar)
- ・ Dr. Fumio Itoh (ABEST21)
- ・ Professor Raj Reddy (Carnegie Mellon University)
- ・ Professor Dennis Epple (Carnegie Mellon University)
- ・ Professor John O’ brien (Carnegie Mellon-Qatar)
- ・ Professor Rajiv Banker (Temple University)
- ・ Professor Joel Demski (University of Florida)



2017年6月

05日：ABEST21 Accreditation Seminar Kuala Lumpur を開催

05日：FEB-Universitas Udayana の来訪

07日：ABEST21 Accreditation Seminar Jakarta を開催

07日：在インドネシア日本国大使館を訪問

23日：ABEST21 Rector Forum 開催の件で文部科学省を訪問

- ・ ABEST21 Accreditation Seminar Kuala Lumpur の開催について
2017年6月5日(月)、Kuala Lumpur Seminar が Management and Science University の City Campus で開催された。セミナーは Malaysia Committee の Coordinator の Dean Dr. Azlan Amran (USM) の司会の下に、2017.3 の理事会及び総会で承認された評価基準の一部改正及び認証評価大綱の一部改正等について伊藤理事長より説明がなされ、引き続き Dean Dr. Ali Khatibi (MSU), Prof. Dr. Ming Yu Cheng (UTAR), Dean Dr. Azlan Amran (Dean, USM) 及び Vice Coordinator の Dr. Siti Zaleha Sahak (UiTM) により、それぞれ2016年度の認証評価の結果を踏まえての ABEST21 の認証評価についての詳細な説明がなされ、質疑応答がなされた。



- ・ ABEST21 Accreditation Seminar Jakarta の開催について
2017 年 6 月 7 日 (水)、Jakarta Seminar が Universitas Indonesia のジャカルタの Gedung Magister Manajemen FEB-UI Campus で 56 名の参加者を得て開催された。セミナーは MM Director Dr. Harryadin Mahardika の司会により、伊藤理事長の新しい Accreditation System についての説明、Indonesia Committee の Coordinator である Dean Dr. Ari Kuncoro (FEB-UI) , Dean Dr. Candra Fajri Ananda (FEB-UB) ,そして Dean Dr. Sudarso Kaderi Wiryo (SBM-ITB) より、それぞれ ABEST21 の認証評価について詳細な説明がなされ、質疑応答がなされた。



2017 年 7 月

12 日 : SBI 新研究科長の来訪

15 日 : タイ・Burapha University で ABEST21 Accreditation Seminar Bangkok を開催

18 日 : インドネシア・Universitas Airlangga で開催された APMMI の第 1 回 ISCRBM に出席

- ・ ABEST21 Accreditation Seminar Bangkok の開催について
2017 年 7 月 15 日 (土)、タイ・Burapha University で、ABEST21 Accreditation Seminar が開催されました。伊藤理事長より ABEST21 の Accreditation System について説明が行われ、引き続きの Dean Sujinda Chemsripong (Faculty of Business, Economics and Communications, Naresuan University, Phitsanulok) より、ABEST21 の認証評価の受審を通じて得た教育の質維持向上について詳細な説明と質疑応答がなされました。



2017 年 8 月

05 日 : マレーシア・GBS-Unniversiti Sains Malaysia で Peer Review Visit を実施

06 日 : マレーシア・GBS-Unniversiti Utara Malaysia で Peer Review Visit を実施

07 日 : マレーシア・Ministry of Higher Education を訪問

08 日 : マレーシア・AAGBS-Unniversiti Teknologi MARA で Peer Review Visit を実施

09 日 : マレーシア・GSM-Management and Science University で Peer Review Visit を実施

10 日 : マレーシア・PBS-Unniversiti Putra Malaysia で Peer Review Visit を実施

11 日 : マレーシア・GBS-Unniversiti Kebangssan Malaysia で Peer Review Visit を実施

14 日 : マレーシア・International Islamic Univerity Malaysia で Peer Review Visit を実施

- ・ Prof. Dr. Noor Azizi bin Ismail (Deputy Director General of Higher Education) を訪問
2017 年 8 月 7 日、マレーシアの高等教育省 (Ministry of Higher Education) を、Dr. Siti Zaleha Sahak (UiTM) と Dr. Jaafar Pyemen (UiTM) の両先生と Deputy Director General of Hgher Education の Prof. Dr. Noor Azizi bin Ismail (写真 : 左から 2 人目) を訪問いたしました。ABEST21 が 2017 年 11 月に産官学連携で ABEST21 ASEAN Recor Forum の開催を予定していることについてのマレーシア政府の協力要請と Jusoh 大臣の講演依頼をそれぞれいたしました。

2017年9月

- 04日：Universitas Airlangga (Surabaya)のPeer Review Visitを実施
- 05日：Universitas Surabaya (Surabaya)のPeer Review Visitを実施
- 07日：Universitas Kristen Satya Wacana (Salatiga)のPeer Review Visitを実施
- 09日：Universitas Burawijaya (Malang)のPeer Review Visitを実施
- 13日：PPM School of Management (Jakarta)のPeer Review Visitを実施
- 14日：Institut Pertanian Bogor (Bogor)のPeer Review Visitを実施
- 16日：Universitas Telkom (Bandung)のPeer Review Visitを実施
- 18日：Universitas Padjadjaran (Bandung)のPeer Review Visitを実施
- 19日：Universitas Padjadjaran (Bandung)のPeer Review Visitを実施
- 20日：Universitas Padjadjaran (Bandung)のPeer Review Visitを実施
- 23日：Minsister Mohamad Nasir (Minister for Research, Technology, and Higher Education, Republic of Indonesia)に面談
- 23日：Universitas Diponegoro (Semarang)のPeer Review Visitを実施
- 26日：京都大学経営管理大学院の文部科学省「先導的経営人材養成機能強化促進委託事業」のコアカリキュラム実証委員会に出席
- 27日：関西学院大学のPeer Review Visitを実施
- 28日：京都大学のPeer Review Visitを実施
- 30日：筑波大学のPeer Review Visitを実施

2017年10月

- 03日：SBI 大学院大学のPeer Review Visitを実施
- 05日：一橋大学のPeer Review Visitを実施
- 07日：神戸大学のPeer Review Visitを実施
- 11日：南山大学のPeer Review Visitを実施
- 13日：Northeastern University (Shenyang, Chiana)のPeer Review Visitを実施
- 18日：青山学院大学のPeer Review Visitを実施
- 20日：Universitas Indonesia (Jakarta)のPeer Review Visitを実施
- 23日：Institut Teknologi Bandung (Bandung)のPeer Review Visitを実施
- 25日：在インドネシア日本国大使館、中村亮公使を訪問
- 26日：Universitas Lampung (Bandar Lampung)のPeer Review Visitを実施
- 28日：Universitas Andalas (Padan)のPeer Review Visitを実施
- 30日：Universitas Sriwijaya (Palembang)のPeer Review Visitを実施

2017年11月

- 25日：インドネシア・Universitas AirlanggaでABEST21 Peer Review Committeeを開催
- 28日：APPMI International Seminar” Internalization of Internationalization”で講演

2017年12月

- 08日：京都大学副学長稲葉カヨ教授を訪問

統計

1) Accredited schools by country

Countries	China	Indonesia	Japan	Malaysia	Russia	Singapore	Thailand	Total
Accreditation	1	13	10	8	1	1	2	36
Re-Accreditation	-	1	7	1	-	1	-	10
Total	1	14	17	9	1	2	2	46

2) Accredited schools by year

Years	Mar. 2009	Mar. 2010	Mar. 2011	Mar. 2012	Mar. 2013	Mar. 2014	Mar. 2015	Mar. 2016	Mar. 2017	Total
Accreditation	4	1	3	3	3	4	7	8	3	36
Re-Accreditation	-	-	-	-	-	4	1	3	2	10
Total	4	1	3	3	3	8	8	11	5	46

3) Total Number of Peer Review Visit 2017

	CN	ID	JP	MY	TH	RU	Total
SCR	-	8	1	-	-	-	9
KR	1	8	7	7	2	1	26
Total	1	16	8	7	2	1	35

SCR=Self-Check/Self-Evaluation Report, KR=KAIZEN Report